

令和8年1月6日（火）【秩父市長 職員向けメッセージ】

職員の皆さん、改めまして明けましておめでとうございます。

本年も何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

年初にあたり、私の新年の想いをお話させていただきます。

私たち秩父市を取り巻く状況は、決して平坦なものではありません。

物価高騰、人口減少、少子高齢化に伴う地域医療や地域公共交通の維持、インフラや公共施設の再編、そして近年激甚化し、いつ発生してもおかしくない災害への対応。どの課題も重く、大きく、簡単な正解はありません。

本年、私が年初に強く感じたことは、こうした課題を乗り越えていくために、あらためて私たちは、今まで以上に力を合わせなければならない、ということです。

市民の皆さん、民間事業者の皆さん、秩父地域の町村、そして国や県、広域自治体。持てる力を結集し、同じ方向を向いて事に臨む覚悟が、これからのおかげで秩父市には必要だと考えています。

そのためにも、まず市役所自身が変わらなければなりません。より一層コミュニケーションを重ね、風通しの良い組織へと、秩父市役所を進化させていく必要があると感じています。

これからの行政は、前例を守るだけでは市民の皆さまの期待に応えられません。「どうしたら、より良くなるのか」。この問い合わせを常に持ち続け、必要なときには迷い、考え方抜き、そして決断し、行動する。その責任から、私は決して逃げずに、正面から立ち向かいります。

私は、市長として、職員の皆さんと同じ現実を見て、共に歩む存在でありたいと考えています。

現場で悩むとき、判断に迷うとき、重たい決断を迫られるとき、それを職員の皆さんだけに背負わせることはしません。私も同じ当事者として向き合い、共に考え、そして最終的な責任は、私が引き受けます。その覚悟で、この一年に臨みます。

また私は、職員の皆さん一人ひとりが、自分の想いと意欲を安心して發揮できる職場を、皆さんと一緒に作りたいと本気で考えています。

「こうした方が良くなる」「やってみたい」「変えるべきだ」。

現場の違和感、改善の提案、挑戦への意欲を、率直に示していただきたいと思います。

私はそれを受け止め、後押しする役割を果たします。昨年以上に、皆さまの声を聞く努力をしていきたいと思います。

職員の皆さんには、私にとって同志です。市民の暮らしを守り、未来の秩父をつくるという、同じ目的を共有する仲間です。

本年が、職員の皆さん一人ひとりにとって、自らの仕事に誇りを持てる一年となること、そして秩父市が「力を合わせる」ことで、確かな未来への扉を押し開く一年となることを願い、年頭のメッセージといたします。

今年は午歳です。共に前を向いて、駆け抜けていきましょう。

何卒、よろしくお願ひ申し上げます。